

学校名	越谷市立大相模小学校
所在地	埼玉県越谷市大成町2-1
電話	0480-52-9820

1. 本校の概要

本校は、明治6年に創立され、児童約500名のなかには、3世代にわたって学ぶ家庭も多く、学校に寄せる期待や願いには大きなものがある。地域・保護者との連携が従来からスムーズに進んでおり、学校図書館ボランティア「どんぐり」父親の会「いちょう会」による活動等、開かれた学校づくりを推進してきた。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校では、図書館ボランティアとの連携を深めるため、学校図書館推進委員会が学校図書館活動の見直し、改善を図り下記の取り組みを行っている。

- ・読み聞かせ部会による、読み聞かせ、お話活動の実践
- ・環境整備部会による図書館の整備
- ・広報部会による広報活動

(2) 学校図書館推進委員会の取組

本校では学校図書館を、一人一人の子供の思いや願いに対応できる場としてとらえ、第1図書室を読書センターとし、夢をはぐくむ図書館として位置付けている。

蔵書は子供たちのリクエスト等にも応え、定期的に新刊本を加えている。

また、読書への関心・意欲を高めるため、週一回、読書タイムの中で多様な読書活動を推進している。

さらに、パソコンを使ったシステムにより、全校児童に対して貸出しを行い、個人カードを使った読書履歴等の管理を行っている。

(3) 学校図書館ボランティア・家庭との連携 読み聞かせの実践

- ・昼休みに自由に参加できる読み聞かせ活動

を週1回、月4回程度実施

- ・多様な読書活動で構成されたブックフェスタ（図書集会活動）の実施
- 環境整備の実践
- ・図書委員会児童、来館児童への支援活動
- ・閉館後の返却事務と本の整理
- 広報活動の実践
- ・「どんぐり」通信の発行と本の紹介活動



3. 成果と今後の課題

子供たちにとって魅力ある図書館をつくろうと学校図書館ボランティアの積極的活用をはかってきた。平成12年度の図書の貸出しを開始した日から、子供たちは図書館にあふれ、本の貸出しに並ぶ列は後を絶たない。

平成12・13年度の学校図書館全貸出し数は、12年度 9,854冊 1児童平均 20.7冊
13年度 12,754冊 1児童平均 25.4冊
となり、子供たちの中に読書の習慣が根付いてきていることが分かる。

子供の意識調査の結果からも、お話や読み聞かせを聞くことが、大好きであるばかりでなく、読み聞かせ・お話会の後、本に対する興味や関心が高まり、図書館での貸出し数が増える傾向にある。

子供たちにとって、読み聞かせ活動は大変効果的であることがわかり、今後ともボランティア活動の推進を積極的に図っていきたいと考えている。

